

2025年4月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『米国における原子力発電所の廃止措置と放射性廃棄物管理実態調査団』

派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜り厚く御礼申し上げます。

2022年5月現在、全国に57基ある実用発電用原子炉のうち、18基が廃止措置中（福島第一を除く）です。現計画では、今後2020年代後半以降幾つかの施設で、解体作業が本格化していくことが予想されます。

廃止措置にとって放射性廃棄物の管理（処理と処分）は切り離せない課題であり、運転廃棄物を含めて、これから本格的に取り組むべき重要な技術分野です。

欧米諸国においては、低レベルの放射性廃棄物処分、解体物の集中処理等、廃止措置で発生する放射性廃棄物の処分に向けた合理的な取り組みが進められています。

他方、1997年に事故で停止したTMI-2号機の廃止措置作業がすすめられる一方、米国電力大手のコンステレーション・エナジー社は9月20日、同社が2019年に閉鎖したスリーマイル・アイランド（TMI）1号機を、再稼働させる方針を明らかにしました。米マイクロソフト社と20年間の売電契約を締結し、同社のデータセンター向けに原子力による高品質な電力を供給し、再稼働時期は2028年を見込んでいます。

そこで本調査団では、福井大学 客員教授 柳原 敏 氏に団長をお引き受け賜り、『米国における原子力発電所の廃止措置と放射性廃棄物管理実態調査団』を通じて、廃止措置段階の施設、及び放射性廃棄物管理（貯蔵、処理、処分）施設等を訪問して、今後の我が国の廃止措置及び放射性廃棄物の処理・処分に向けた取り組みに必要な知見や経験を調査したいと思います。

ご参加頂ける場合は、以下のものを一般社団法人日本技術者連盟宛て E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお送りください。

尚、お申し込み締切は2025年4月25日（金）と致します。

1. 本ご案内、最終ページの参加申込書（必要事項をご記入ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

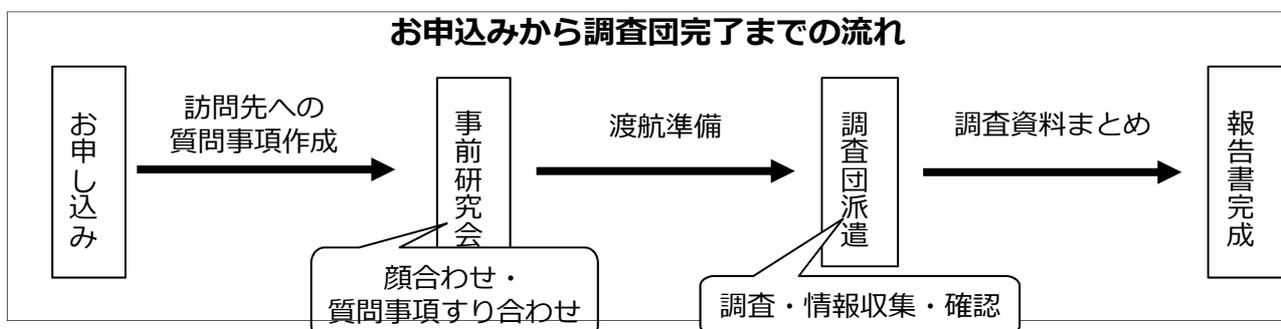
【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。

また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脉の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

お申込みから調査団完了までの流れ



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <https://www.wkx21c.org>

『米国における原子力発電所の廃止措置と放射性廃棄物管理実態調査団』

参加要項

1. **テーマ：**『米国における原子力発電所の廃止措置と放射性廃棄物管理実態調査団』
2. **期間：** 2025年6月8日（日）～6月15日（日）の8日間
3. **主催：** 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. **後援：** 公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター（原環センター）（ご依頼予定）
5. **団長：** 柳原 敏 氏 福井大学 客員教授 工学博士
原子力デコミッション研究会 会長
日本原子力学会 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会 廃棄物検討分科会主査



■ 略歴 ■

1976年に旧日本原子力研究所（現日本原子力研究開発機構）に入所して、反応度事故時における燃料の破損挙動などの安全性研究、JPDR解体プロジェクト（1986-1996年）での廃止措置及び放射性廃棄物処理などに係る実務と研究開発に従事。また、バックエンド対策の全体の計画検討・企画などを担当。2014年から2022年まで福井大学・国際原子力工学研究所で特命教授として教育、研究の従事。主な研究分野は、原子力施設の廃止措置及び放射性廃棄物の処理処分。

1976年 日本原子力研究所入所、反応度事故時の燃料挙動に係る研究に従事
1982年 アイダホ国立工学研究所で国際協力による炉心損傷に係る研究に従事
1986年 動力試験炉（JPDR）の廃止措置に係る研究開発、実務に従事
2002年 バックエンド技術部次長、廃止措置等に係る実務及び研究開発の指導
2004年 企画室調査役として企画運営の業務に従事
2005年 日本原子力研究開発機構が発足
2007年 バックエンド推進部門副部門長、廃止措置及び廃棄物管理の企画運営に従事
2011年 退職、産学連携コーディネータ（福井大学 客員教授）
2014年 福井大学 大学院工学研究科 特命教授
2022年 福井大学 退職（4月から客員教授）
現在に至る

6. 調査団趣旨及び調査項目：（案）

- 米国で進められる廃止措置段階の原子力発電所、低レベル放射性廃棄物の管理（保管、処理、処分）に係る施設を視察し、現場で働く技術者と議論を深める予定です。
- （1）原子力発電所の廃止措置で発生する低レベル放射性廃棄物の保管状況の調査
 - （2）放射性廃棄物の減容化、安定化に係る技術及びその適用に係る調査
 - （3）低レベル放射性廃棄物の処分場の視察とその管理の在り方に係る情報収集
 - （4）解体物のクリアランスに係る検認及び住民への説明などに係る調査
 - （5）原子力発電所の廃止措置に係る工事状況に係る実地調査



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

7. 予定訪問先・概要： ※現地側の都合により変更される場合もございますので、予め、ご諒承賜りますようお願い申し上げます。

1. **Three Mile Island (TMI) Unit 2**

- 廃止措置が進行中であり、実際の解体・廃止措置に関する具体的な情報を収集可能。
- 低レベル放射性廃棄物の管理や減容化技術を視察するのに適した場所。

2. **EnergySolutions (ソルトレークシティ)**

- 米国で大手の放射性廃棄物処理施設。特に低レベル放射性廃棄物の処分と減容化に関する技術を持つ。
- サイトでの実際の運用状況や廃棄物処分のプロセスを視察可能。

3. **Clive Disposal Facility (EnergySolutions, Utah)**

ソルトレークシティ近郊にある廃棄物処分施設で、特に低レベル放射性廃棄物の処理・処分に特化している。

同施設では、廃棄物の減容化、安定化、処分技術を直接視察できます。さらに、現場の技術者やエンジニアと議論することで最新の運用方法や課題を学ぶ。

4. **Waste Control Specialists (WCS)**

- テキサス州に位置し、低レベル放射性廃棄物の処分場として有名。
- 廃棄物の安定化や処分技術を視察できる。

8. 日程表： 詳細は事務局までお問い合わせください。

9. 募集人員： 10名

10. 参加費： ¥1,850,000- (予定・税別 お申込金 50万円を含む)

※日程その他に変更が生じた場合には、参加要項等に変更がありますことを予めご了承下さい。

11. 通訳・プロジェクトマネージャー： 各コース共、現地同行

12. ホテル： 一人部屋

13. 総合事務局： 株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

14. 運営実施： 観光庁長官登録旅行業者

15. 申込方法： 添付申込書に必要事項をご記入の上、参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラー

コピー及び名刺のコピー（和文と英文）を添えて、**2025年4月25日（金）までに**、
E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) までにお申込み下さい。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが一般社団法人日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

16. 代金支払： 一般社団法人日本技術者連盟の総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書を

ご送付申し上げます。期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

『柳原調査団』
日程表

2025年6月8日（日）～6月15日（日） 8日間

日次	日付	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事	
1	6月8日 （日）	羽田発 シカゴ経由 ハリスバーグ着	AIR		羽田国際空港出発 シカゴ経由 ハリスバーグ着	昼 夕	機内食 ○
2	6月9日 （月）				TMI Unit 2 (Three Mile Island) 視察	朝 昼 夕	○ ○ ○
3	6月10日 （火）	ハリスバーグ発 ダラス経由 ミッドランド着	AIR		移動日	朝 昼 夕	○ ○ ○
4	6月11日 （水）				Waste Control Specialists (WCS) 視察	朝 昼 夕	○ ○ ○
5	6月12日 （木）	ミッドランド発 ソルトレークシティ着	AIR		ソルトレークシティ移動 Energy Solutions 本社訪問	朝 昼 夕	○ ○ ○
6	6月13日 （金）				Clive Disposal Facility視察	朝 昼 夕	○ ○ ○
7	6月14日 （土）	ソルトレークシティ発 サンフランシスコ経由	AIR		ソルトレークシティ国際空港発 サンフランシスコ経由	朝 昼 夕	○ ○ 機内食
8	6月15日 （日）	羽田着			羽田国際空港到着	朝	機内食

*上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：**お申込金 50万円**
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：**参加費の50%、及び企画手配料10万円**
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2024年11月末日時点の運賃及び10名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

**『米国における原子力発電所の廃止措置と放射性廃棄物管理実態調査団』
参加申込書
一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）行**

会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)	
E-mail		携帯電話番号	
ご住所	〒 -		
電話番号		FAX番号	
ご住所	〒 -		
電話番号			
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方		印	
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券（パスポート）について；今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）			
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日 2025 年 月 日 （ 月 日までに必ず取得してください）		
強いアレルギーなど ございますか			
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）		

個人情報保護方針
 本行申込書に記入したご氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報が個人情報に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。
 1. 個人情報保護法利用の目的
 お客様が申込書に記入したご連絡先、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を予約するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。
 2. 個人情報の開示・提供
 下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。
 ア. 本人の同意がある場合
 イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス予約に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。
 ウ. 法令が定める等により個人情報の開示・提供が求められた場合。
 3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局までお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <https://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
 〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950
 FAX : 03-6229-1940